2026 年 11 月 19 日
TREホールディングス株式会社

株式会社タケエイと株式会社タケエイ林業
「自然共生サイト」認定について

当社連結子会社の株式会社タケエイ（東京都港区、以下「タケエイ」）と当社グループ傘下の株式会社タケエイ林業（東京都港区、以下「タケエイ林業」）が社有林にて進めている「遠野市下宮守 森林再生プロジェクト」が、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。また、タケエイは「生物多様性のための30by30アライアンス」に参加いたしましたので、お知らせいたします。

記

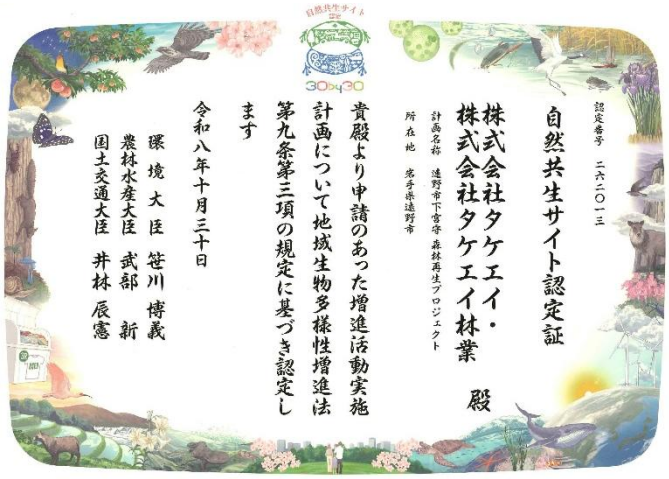
1．概要

この度、2025 年 4 月施行の「地域生物多様性増進法」に基づく「自然共生サイト」に、タケエイとタケエイ林業が岩手県遠野市の社有林において計画する「遠野市下宮守 森林再生プロジェクト」について共同申請し、2026 年 10 月 30 日付けで認定されました。

環境省は、世界的な目標である生物多様性の損失を止めて反転させる「ネイチャーポジティブ」の実現に向けた取り組みとして、「地域における生物の多様性の増進のための活動の促進等に関する法律」（以下「地域生物多様性増進法」）に基づき、民間の取組等による生物多様性の保全、保護等の活動を認定しています。認定された活動の実施区域を「自然共生サイト」と呼びます。

また、タケエイは、2030 年までに陸域・海域の 30%以上を保全対象とする国際目標「30by30」の取り組みを発信・連携するための枠組みである「生物多様性のための 30by30 アライアンス」に、2026 年 10 月に参加しました。

2026 年 11 月 13 日に、宮城県仙台市にて「自然共生サイト」認定証授与式が執り行われ、認定証を受領いたしました。



自然共生サイト認定証



認定ロゴ

2.「遠野市下宮守 森林再生プロジェクト」について

本プロジェクトの実施区域はタケエイ林業が保有する社有林であり、遠野市中山間地域に位置する総面積約9.95ha の山林です。主にアカマツが優占しているものの、松くい虫による被害により林内の多くが枯損し、山林本来の機能が損なわれている状況にあります。松くい虫被害は、景観を損ねるだけでなく、枝折れや風倒の発生を招き、生態系の安定性や生物多様性、病害虫への抵抗力、水源涵養や防災といった山林の多面的機能を低下させる原因となります。

そこで、タケエイ林業は、被害を受けた全てのアカマツを伐採し、樹種をカラマツへ転換するとともに、自然に侵入していた広葉樹は保残させ針広混交林に誘導する予定としています。これにより、周辺の山林からの動植物の侵入・回帰を促進し、多層的な森林構造の形成を図ることで、長期的に健全な山林へと再生することを目指します。また、伐採したアカマツは現地でチップ化することで、松くい虫の駆除及び拡散防止が期待できます。さらに、同チップはタケエイグループのバイオマス発電所にて燃料として利用し、活用用途が限られた松くい虫被害木を余すことなく活用することができます。



皆伐後の社有林



松くい虫被害木を
現地でチップ化している様子

「自然共生サイト」認定の取り組みと林業活動を融合させることで、経済性のある山林への回復と生物多様性の回復を両立し、ネイチャーポジティブの実現に向けた社会づくりに貢献してまいります。また、景観の改善により周辺住民の皆様にも喜ばれる山林の実現を目指し、持続可能な森林管理と地域連携を継続して推進していきます。

以下もご参照ください。

2024 年 2 月 26 日 株式会社タケエイ林業 山林取得のお知らせ（遠野市宮守町）

以上